

科目名	経済活動と法	単位数	2単位	必修選択	選択
教科書	経済活動と法（実教出版）				
副教材	経済活動と法 新訂版 問題集(実教出版) 全商商業経済検定模擬試験問題集 1・2級 経済活動と法(実教出版)				

教科・科目の内容

授業で学ぶ内容は多岐にわたるが、そもそも「法」とは何かを理解したうえで、一般法とそれに付随する特別法について詳しく学習する。

「法」のもつイメージから難しく捉えがちではあるが、本科目で学習する内容は基本的な部分であり、日常生活やビジネスの諸活動に直結するため、学習が難しいと言うことはない。また、「法」を学ぶうえで欠かせないことは「法」の持つ意義や事例の理解である。具体的事例や判例、解釈などを元に学習を進めることで「法」を身近な物として捉える事ができ、学習効果が高まる。

日常生活や将来とのつながり

現在の社会生活は、様々な法に基づいて秩序づけられており、法を離れての社会生活や経済活動はあり得ない。そのため、法を知ることは社会の一員として必要なことである。

「労働」や「経営」というビジネスに関わる法律だけではなく、社会人として必要な法を一つでも多く知るとは社会生活において大変有利になる。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

日常生活において消費行動など、経済活動は自然に行われているが、それ自体が法律行為である事を意識して行動していることは少ない。しかし、「婚姻」や「不動産の取得」など、卒業後にはより重要な法律行為を経験することが予想され、用語の暗記だけではなく、その法の持つ意義や意味についての深い理解が必要である。用語を理解することとは異なり、法律の理解は実例に対する適切な判断が求められるため、判例や事例研究を積極的に行ってほしい。

到達目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・ノート提出)

ビジネスの諸活動や日常生活に関する法について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

② 思考・判断・表現(行動観察・ノート提出・発表)

ビジネスの諸活動や日常生活に関する諸課題を、法による解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、社会生活に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。

③ 技能(グループ学習・発表)

法に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。

④ 知識・理解(小テスト)

法に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	経済活動と法	2	経済活動と法(実教出版)	経済活動と法 新訂版 問題集(実教出版) 全商商業経済検定模擬試験問題集 1・2級 経済活動と法(実教出版)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	年間オリエンテーション	・ 年間の学習内容を理解する。	○	○		
	1章 経済社会と法 1 法の意義と役割	・ 法とはどのような物か、その本質を明らかにし、法の体系を理解する。 ・ 法の種類や効力、適用と解釈など、法を学ぶ上で必要となることを理解する。	○	○	○	
	2章 権利・義務と財産権 1 権利・義務とその主体 2 物と財産権 3 知的財産権	・ 法律関係を理解し、権利・義務の意義や関係・主体について学習する。 ・ 経済生活に必要な「物」の概念と範囲を理解し、財産権について学ぶ。 ・ 今後さらに発展していくグローバル化の中で、知的財産権の保護と活用が重要であることを理解する。	○	○	○	
	小テスト・ノート点検		○	○		○
	3章 財産権と契約そしてその保護 1 財産権と契約 2 物の売買 3 物の貸借	・ 生活を支える財産権について、その変動や発生、変更、消滅などについて理解する。 ・ 財産権や所有権の移動がどのような契約や意思表示によって行われるのか理解する。 ・ 権利の対抗要件について、その条件や方法について理解する。	○	○	○	
	小テスト・ノート点検		○	○		○
二学期	3章 財産権と契約そしてその保護 4 契約によらない財産権の変動 5 財産権の保護	・ 権利の認定に関する「時効」について、その種類と算出方法について理解する。 ・ 財産権の変動が特殊な形で行われる事について学習する。 ・ 債権者・債務者のそれぞれが持つ権利・義務について、学習する。	○	○	○	
	小テスト・ノート点検					
	4章 企業活動に関する法 1 企業活動の主体 2 営業活動の自由と制限 3 株式会社と法	・ 企業が経営活動を行う上で関わる会社法等について詳しく学習する。 ・ 以後学習する5章・6章と関連づけた指導を行う。 ・ 会社設立に当たり、必要となる株式や定款、諸役員会などの関連関係や組織における役割について学習する。	○	○	○	
	小テスト・ノート点検		○	○		○
	5章 取引に関する法 1 手形・小切手と法 2 金融取引	・ 1年次に学習した簿記と関連づけて学習を行う。 ・ 実際に模擬取引を行う等、体験的に授業が行えるよう指導する。 ・ 誰もが行う可能性のある金融取引についてその歴史や種類について把握する。	○	○	○	
小テスト・ノート点検		○	○		○	
三学期	6章 企業の責任と法 1 法令遵守 2 消費者と法 3 労働と法 4 紛争の予防と解決	・ コンプライアンスの重要性について、法律と照らし合わせた具体例を通して理解する。 ・ 「消費者」として必要な知識を身につける。 ・ 「労働者」の権利・義務や民法上の規定について学習する。 ・ 諸問題に対する予防策や解決手段について学習する。	○	○	○	
	小テスト・ノート点検		○	○		○
	発展学習 家族と法	・ 社会生活の基盤としての「家族」に関する法理解を高め、「戸籍」や「親族」の範囲や、「婚姻」「離婚」「相続」について学習する。	○	○	○	
小テスト・ノート点検		○	○		○	

備考	全商商業経済検定(経済活動と法) 検定対応問題集は受験希望者のみ購入
----	------------------------------------